

# 全面マルチ用うね内部分施肥機は 葉菜類(はくさい、キャベツ、レタス)の減肥栽培に利用できる

野菜花き試験場

## 1 技術の要約

全面マルチ用うね内部分施肥機を用いると、葉菜類(はくさい、キャベツ、レタス)の春まき作型で減肥効果が高く、基肥の約 30%減肥で全面全層施肥と同等の収量が得られます。

## 2 技術の内容

全面マルチ用うね内部分施肥は、うね内の定植部周辺の土壌と肥料を混和して帯状の施肥部分を形成する新しい技術で、減肥により生産コストと環境負荷の低減を図ることができます。



図1 うね内部分施肥機の施肥部分

板爪が円周状に配置されているため、ナタ爪で土壌と攪拌された肥料は外に広がることなく、うね中央部に施肥されます。

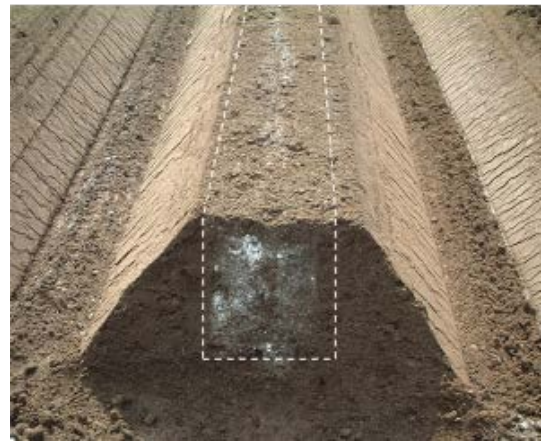


図2 肥料混合部(点線枠内)

施肥部分をわかりやすくするため、石灰を用いた。

春まき作型のはくさい、キャベツ、レタスでは、うね内部分施肥により基肥をおおよそ 30%減肥しても、全面全層施肥と同等の調整重が得られます。なお、レタスの夏まき作型では濃度障害の恐れがあるため、40%減肥する必要があります。

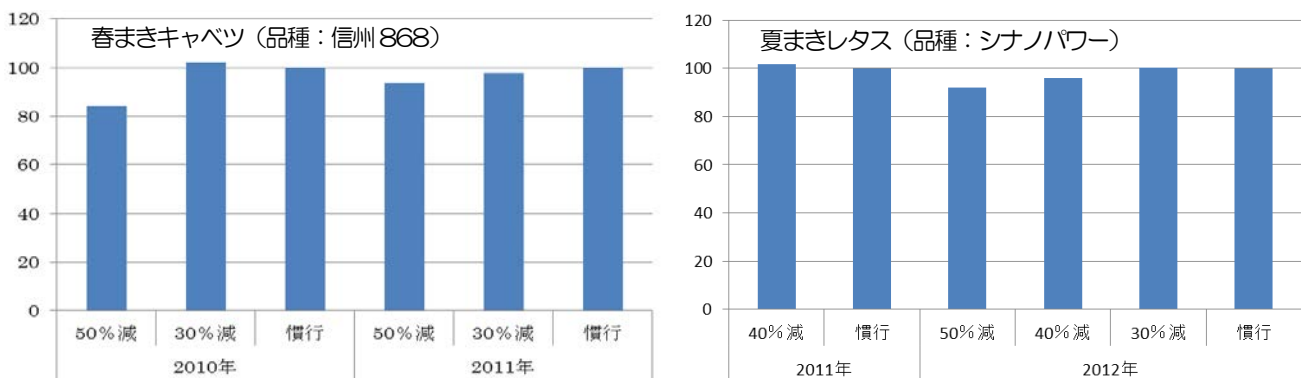


図3 減肥したうね内部分施肥と慣行(全面全層施肥)との収量比較(慣行を100とした割合)